

本町地区防災マップ (令和7年版)

凡例

- 津波浸水想定区域**
- 20.0m 以上
 - 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 1.0～3.0m 未満
 - 0.5～1.0m 未満
 - 0.3～0.5m 未満
 - 0.3m 未満
- 洪水浸水想定区域**
- 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 0.5～3.0m 未満
 - 0.5m 未満
- 石狩川水系石狩川 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
 石狩川水系当別川 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
 中小河川 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
- 指定緊急避難場所**
 指定緊急避難場所・指定避難所
 津波避難場所
- 警察**
病院
消防署・消防団
公民館・研修センター
福祉・児童館
幼稚園・保育園
文化・教育施設
公園
一般国道
主要道路

備蓄品

- 《非常食》
- 雑炊
 - クラッカー
 - 飲料水
 - 粉ミルク
 - アレルギー対応粉ミルク
- 《生活用品》
- 毛布
 - ラジオライト
 - 発電機
 - 投光機
 - ストーブ
 - 救急箱
 - 簡易トイレ
 - 子供用おむつ
 - 大人用おむつ
 - 生理用品
 - ガスコンロ
 - ビニールシート
 - ハンドマイク
- ※避難所により、備蓄状況は異なります。

防災用資機材セット

- 消火器 5本
- 消火バツ 10個
- のこぎり 1丁
- おの 1丁
- ハンマー 1丁
- 金てこ 1本
- 剣先スコップ 5本
- かませ木 2本
- ロープ 2本
- ジャッキ 1台
- ボルトクリッパー 1丁
- 折りたたみ式担架 2台
- 救急セット 1式
- 道具台車 1台
- トランジスタメガホン 1台
- ラジオライト 1台
- ヘルメット 10個
- 防水シート 3枚
- 資機材収納箱 1台

持ち出し品の確認

個人でなければ用意できないものなど、絶対に忘れてはいけない持ち出し品をメモしておきましょう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

津波避難場所	住所	電話番号
① 市営住宅本町団地	親船町 107 番地	-
② 石狩消防署石狩湾新港支署	志美 65 番地 2	62-3127
③ 石狩市防災ひろば	志美 65 番地 48	-

指定緊急避難場所	災害の種類							指定避難所	住所	電話番号
	地震	津波	高潮	洪水	まちの浸水	土砂災害	大火事			
② 旧石狩小学校	△	○	○	○	○	○	×	○	横町 39	-
② 旧石狩小学校グラウンド	○	○	○	×	○	○	○			
③ 石狩中学校	△	○	○	○	○	○	×	○	志美 293-30	62-5004
③ 石狩中学校グラウンド	○	○	○	○	○	○	○			
③ 石狩市防災ひろば	○	○	○	○	○	○	○		志美 65-48	-

避難所はどこ？
Where is the evacuation site?
避難所在哪里？
Где убежище?

① 両手を握って走る様子。

② 全指を曲げた右手を前に置く。

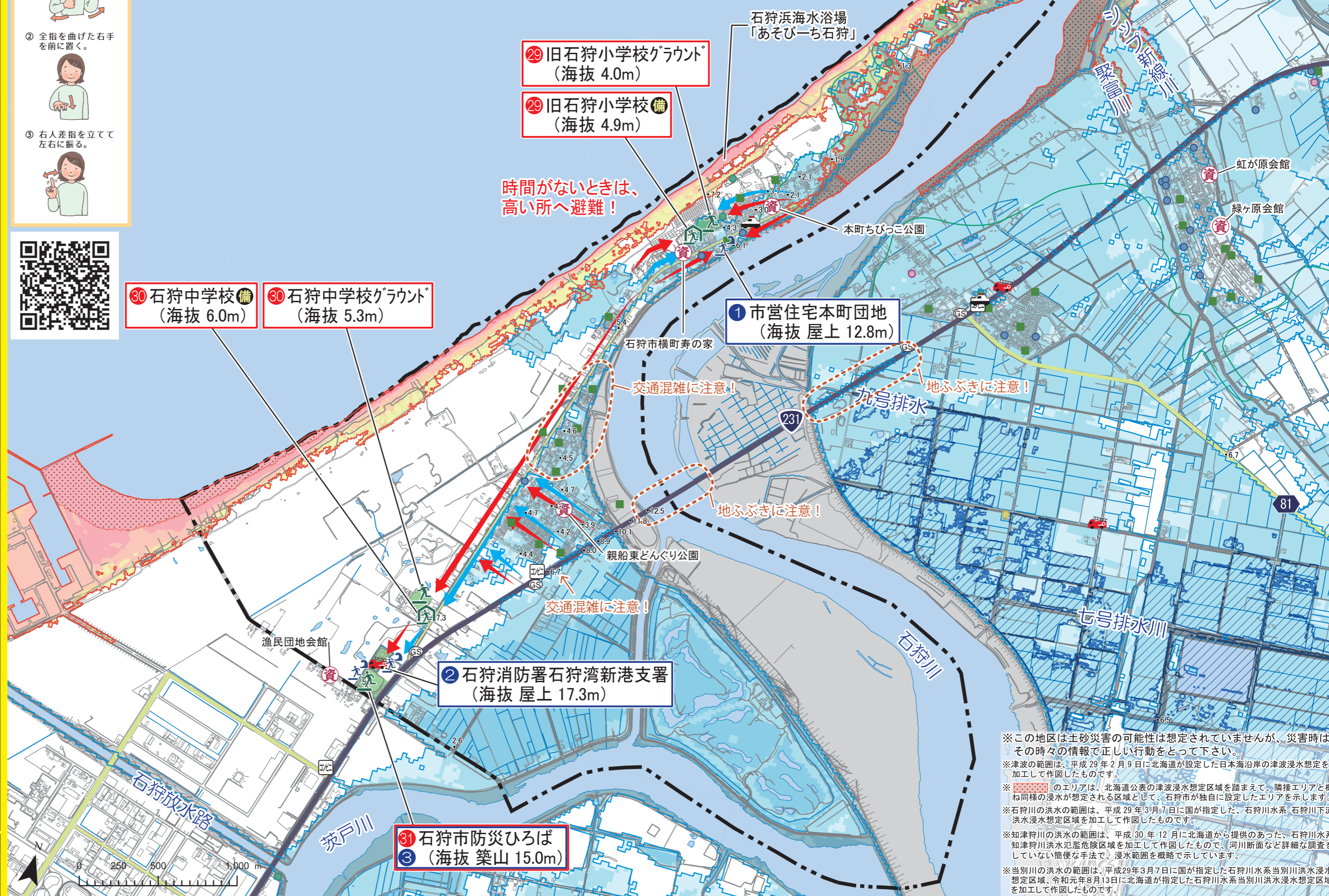
③ 右人差し指を立てて左右に振る。



避難方向

赤 → 地震・津波

青 → 洪水



※この地区は土砂災害の可能性は想定されていませんが、災害時はその時々で正しい行動をとって下さい。

※津波の範囲は、平成29年2月9日に北海道が設定した日本海沿岸の津波浸水想定を加工して作図したものです。

※このエリアは、北海道公表の津波浸水想定区域を踏まえて、隣接エリアと概ね同様の浸水が想定される区域として、石狩市が独自に設定したエリアを示します。

※石狩川の洪水の範囲は、平成29年3月7日に国が指定した、石狩川水系 石狩川下流洪水浸水想定区域を加工して作図したものです。

※知床川水系の洪水の範囲は、平成30年12月に北海道から提供のあった、石狩川水系知床川水系洪水浸水危険区域を加工して作図したもので、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法で、浸水範囲を概略で示しています。

※当別川の洪水の範囲は、平成29年3月7日に国が指定した石狩川水系当別川洪水浸水想定区域、令和元年8月13日に北海道が指定した石狩川水系当別川洪水浸水想定区域を加工して作図したものです。

※まちの浸水とは、降雨量が小河川や下水道等の流れる能力を超えた場合に、建物や道路が浸水することを指します。※表中の記号は、「○」：現象に対応できるもの ×：現象に対応できないもの △：施設の安全が確認された後に使用する施設であり、耐震条件を満たしたもの ▲：2階以上の避難について現象に対応できるもの」を表しています。

この防災マップは、皆さまの声をまとめたものです

※この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

本町地区の『防災の心得』

平常時

1 持ち出し品と

個人で、持ち出し品の準備や備蓄をしよう。冬季の寒さ対策も忘れないようにしよう。

4 要配慮者の把握！

普段の生活の中から、町内会や隣近所などが中心となって要配慮者の把握を行おう。

2 家族で防災会議！

家族の間で、連絡方法、集合場所の確認をしておこう。

5 防災訓練で備える！

想定にとらわれることなく、日頃から防災訓練を実施して、災害時に備えよう。訓練には積極的に参加しよう。

3 情報収集手段の確認！

メール等による情報取得では、使えない人へ伝えよう。

1 まずは情報収集！

まずはテレビやラジオなどで災害情報は確認しよう。

2 地震が起きたら 広い場所へ

地震災害時、身の安全を確保したあとは、広い場所へ出て周囲の状況を確認しよう。

6 天候に応じた 避難を！

吹雪などの天候に考慮した準備をして避難をしよう。

3 津波情報が出たら、海から 遠く、高い場所へ！

津波情報が出たら、海から遠く、高い場所へ避難しよう。

4 助け合って避難！

一人で逃げるのが困難な高齢者や乳幼児の避難を助けよう。

5 乗り合わせて避難！

車で避難せざるを得ないときは、隣近所や災害時要配慮者の方と乗り合わせて避難しよう。

7 避難先で助け合う！

避難先の運送や駐車場の誘導などを地域住民で助け合いながら行おう。

<本町地区> 地区防災マップの使い方

- 1 地区内の危険をチェックしよう。
(津波、洪水、土砂災害など)
- 2 自分の家をチェックしよう。
- 3 いつも通っている場所をチェックしよう。
(学校・職場・病院など)
- 4 近くの避難所をチェックしよう。
- 5 家やいつも通っている場所からの避難ルートを書いてみよう。

※付録の材料を使って家族でマップを完成させよう！
※地区防災ガイドを詳しく見てみよう！



「いしほ!」※ダウンロード画面では「ライブビュー」と表示されます。

スマホにインストールして使用するアプリです。災害時の緊急情報や市からのお知らせをプッシュ通知で受けとれるほか、市の施設予約や各種サービスへ素早くアクセスすることができ電子回覧板機能も利用できます。